

佐賀県鉄構工業会

桂スチール・岡山工場を見学

ビルトH製作の生産管理学ぶ

佐賀県鉄構工業会(理事 長 原田英樹・原田鉄工社長)は17日、研修事業の一環でビルトH形鋼の大手メーカー、桂スチール(本社 兵庫県姫路市、三木伸一社長)の各工場を見学。組合員12人が参加した。

一行は最初に第3工場(岡山県備前市三石)の会議室で三木啓司取締役執行役員から県内に分散する6

仕口加工の自動化、最新型の溶接システムや太陽光発電活用による脱炭素化の取り組み、ものづくり道場による外国人技能実習生を含めた人材育成などについて見聞を広めた。

出席者からは「各生産サイズで一番多い用途先」「国内と海外の機器を使用する上での違い」「溶接H形鋼製作工場認定制度における各区分の特徴」などに質問が集中した。原田理事長は「ビルトH

と鉄骨という製作上の違いはあるが、各工場を見学させていただき、改めてものづくりに対する真摯な取り組みの大切さを再認識させられた。感謝したい」と締めくくった。



記念撮影

●:総会・祝賀会で協議 大阪府鉄構建設業協同組合(理事長 佐野勝也・タニシン専務)は15日、大阪市中西区の組合事務所で開催、5月26日の第50回通常総会と組合設立50周年記念祝賀会の実施に向けて協議した。運営・共済事業委員会が示した2022年度決算案・23年度収支予

算案、22年度の共済事業に貢献した共済事業協力企業表彰の対象企業を承認したほか、総会と祝賀会のタイムスケジュールや役割分担、来賓者、記念品などについて打ち合わせた。



総会と祝賀会で打ち合わせ



▶ビルトH製作の最新鋭の製造ラインを見学